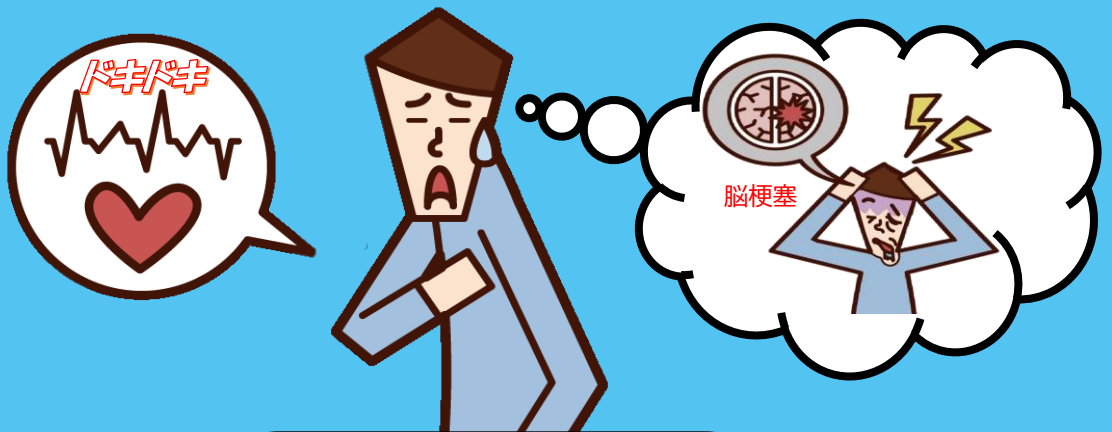


あなたの心臓大丈夫？



不整脈

動悸(ドキドキする)が一般的な症状ですが、症状が乏しく発見されにくい場合もあります。頻度の高い心房細動という不整脈では高血圧、糖尿病などの危険因子があると脳梗塞を起こしやすくなります。

年のせいかな？



心臓弁膜症

心臓の弁の機能が低下すると、心不全(息切れ・むくみ・倦怠感)や動悸・胸痛・失神などの症状がでます。年のせいかなと思っても心臓弁膜症が隠れているかもしれません。かかりつけ医の聴診で発見されることもあります。

高血圧

糖尿病

高コレステロール血症

タバコ



狭心症・心筋梗塞

心臓に酸素・栄養を送っている血管の動脈硬化が進むと、狭心症や心筋梗塞を引き起こします。高血圧や糖尿病、高コレステロール血症、喫煙などの危険因子を放置しておくとも動脈硬化が進んでしまいます。健診で早期発見を。

健診を受けましょう

心臓病の中には症状があまりないまま進行し、重大な事態を引き起こすものがあります。健診を受けて心臓病の早期発見に努めましょう。かかりつけ医に通院している方でも毎年の健診は欠かさずに。

